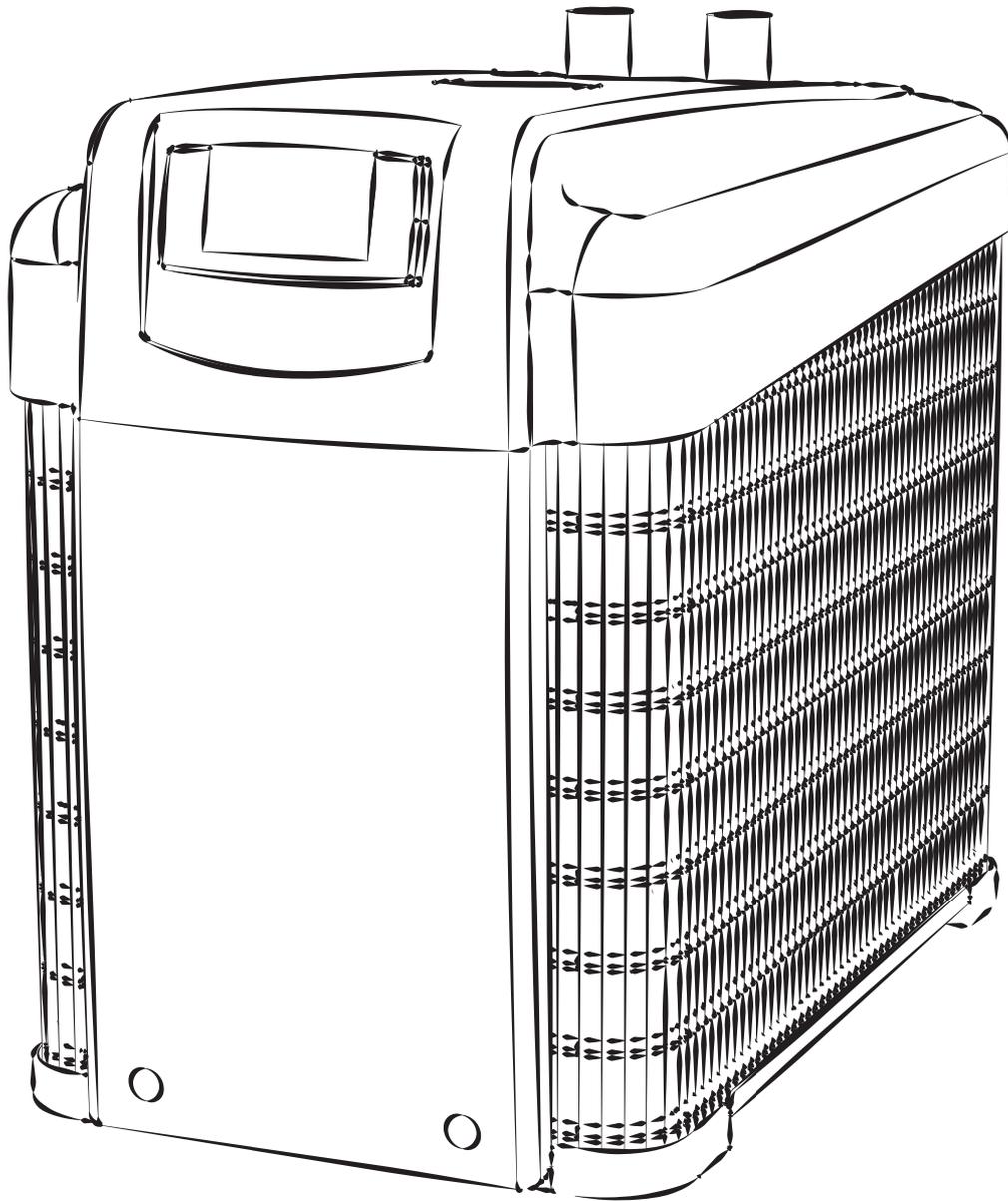


TANK
CHILLER LINE

TK 150

取扱説明書



お客様へ

この度は TK150 をお買い上げ頂きありがとうございます。

製品の構造や機能を十分にご理解頂くために、取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。

取扱説明書は必ず保管し、必要に応じてお読みください。

1. はじめに

本製品は TECO 社により設計されたアクアリウム用クーラーです。



15歳未満の方はご使用にならないでください。

本取扱説明書の複製の諸権利は TECO 社にあります。
TECO 社の書面による承諾なしに、複製したり第三者に譲渡したりしないでください。

2. 内容物

以下の全ての付属品が入っていることを確認してください。(図 1)

D 取扱説明書	×1
F パッキン付きホース継手	×2
G ホース固定用クリップ	×2

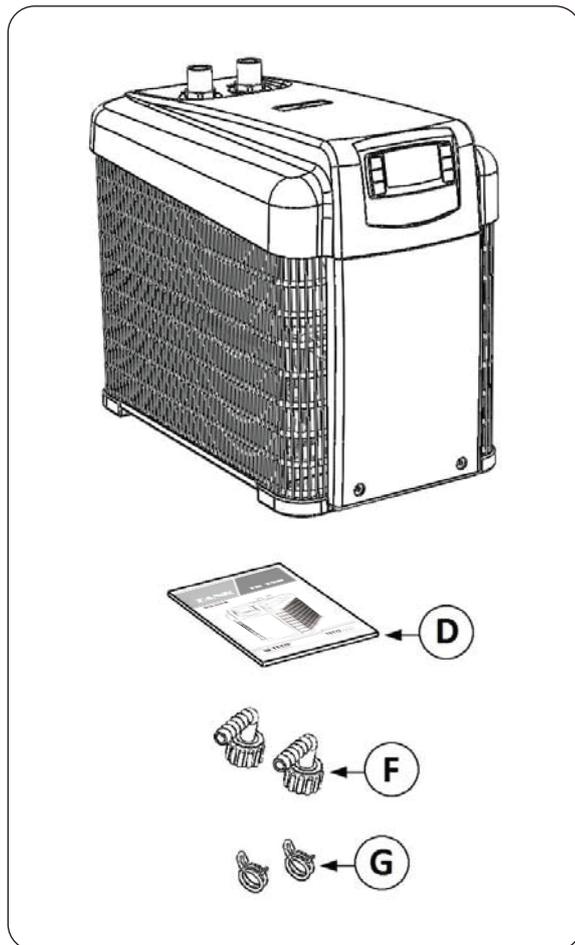


図 1

3. 安全に関する重要な注意事項



- 使用前に全てのパーツ、特にコード部分に傷が付いていないことをご確認ください。
- 本体に水を循環させていない状態で電源を入れないで下さい。火災、水漏れ、故障の原因となります。
- 本体は月に 2 回は清掃しほこり等を取り除いて下さい。ほこりが詰まった状態で使用すると、火災や故障の原因となります。
- 電源コードには必ずコンセントより低い位置を設けて、水がコードをつたってコンセントに接触しないようにして下さい。火災の原因となります。
- 電源プラグは埃などがつかないようにして下さい。火災の原因となります。
- 作業を行う前に、全ての電子機器の電源が切れていることを必ずご確認ください。
- ファン内部に指や異物を入れないで下さい。ファンの回転による事故に繋がります。
- 電源コードを引っ張ったり、傷つけたりしないでください。
- 異常が見受けられた場合は、ただちに電源コードを外して販売店にご連絡下さい。そのまま放置すると火災や破損などの原因になります。
- 電源コードの破損に関しましては、製造者、販売店または専門の技術者が交換する必要があります。
- 水槽のメンテナンスの際は必ず電源コードを抜いてください。
- 5℃～35℃の室内でのみ使用することができます。
- 本製品の定格電圧は 100V です。定格電圧以外でのご使用はおやめください。
- 延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートに繋がる危険があります。

4. 製品仕様

TK150		
最大対応総水量	150L ※	
適合ホース内径	12mm	
適合最小流量	400L/h	
適合最大流量	800L/h	
最大水圧	1bar	
重量	12.2kg	
寸法	幅 215mm× 奥行 361mm× 高さ 315mm	
水温設定範囲	5～35℃	
成績係数 (COP)	2	
定格電圧 / 周波数	100V-50Hz	100V-60Hz
定格消費電力 (冷却時))	160W	175W

※最大対応水量は気温、設置場所、飼育機材などで下がります。
150Lは、水温 25℃・室温 30℃・加熱負荷 0.5W/L の場合を想定しています。

ガスの種類：R134a（地球温暖化係数 1300）

5. 設置と操作方法



警告 コードを伝って水が電源プラグにかかる事を防ぐために、電源プラグよりコードが低くなる、ドリップループの箇所を必ず設けてください。(右図参照)



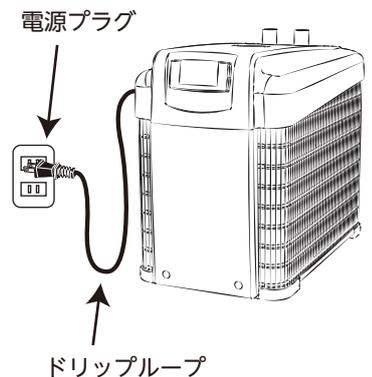
注意 タコ足配線でのご使用はおやめください。電圧が足りず、作動しないおそれがあります。また、本体に負荷がかかり故障や発火、火災の原因となります。ご使用の際は必ず電源が 100V で安定していることを確認してください。



注意 箱や器具を上下逆さまにしないでください。箱、梱包材は修理等、輸送する際に必要となりますので大切に保管してください。



注意 本体外装の網目部分は、冷却機能の重要な部分になりますので、ダメージを与えないように注意してください。



- 1) 箱を開け、付属品を取り出します(図2のA)。
- 2) 梱包用の発泡スチロールを取り除きます(図3のC)。
- 3) 梱包用のビニール袋を取り除きます。
- 4) 製品が輸送、移動の際に破損していた場合、製品を設置、使用または修理せず、購入した店舗に連絡してください。
- 5) 電源コードは説明書の指示があるまでコンセントに接続しないでください。
- 6) 直射日光が当たる場所や室外、キャビネットの中などの風通しの悪い場所には設置しないでください。

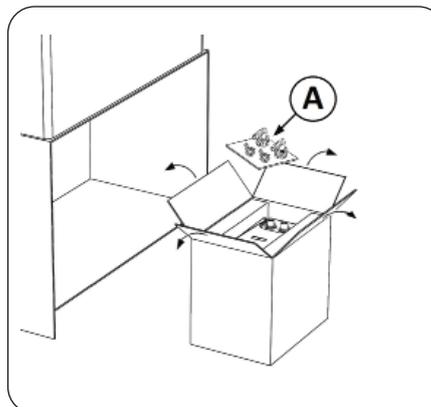


図 2

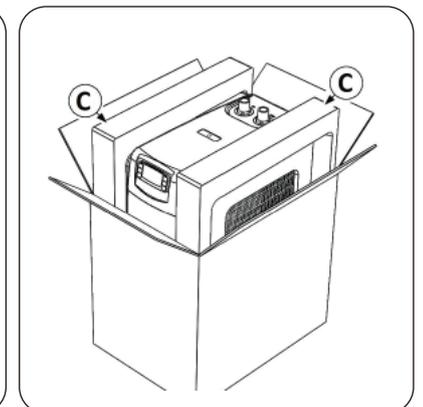


図 3

設置場所の室温は 5℃～30℃に保ってください。

- 7) 次の手順でホースを取り付けてください。
- 8) ホース固定用クリップ (図 4 の P3) にホースを通しておきます。
- 9) そのホースに継手 (図 4 の P4) を取り付け、継手の所をホース固定用クリップで固定します。
- 10) 排水方向を決めて、パッキンの裏表に注意しながら継手を本体に取り付け、固定ネジ (図5 の P9) を時計回りに回して固定します。

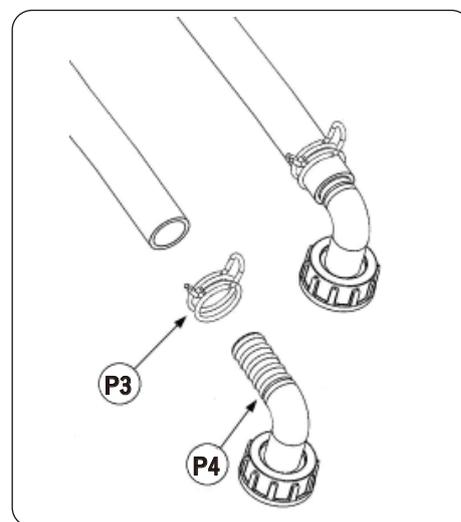


図 4

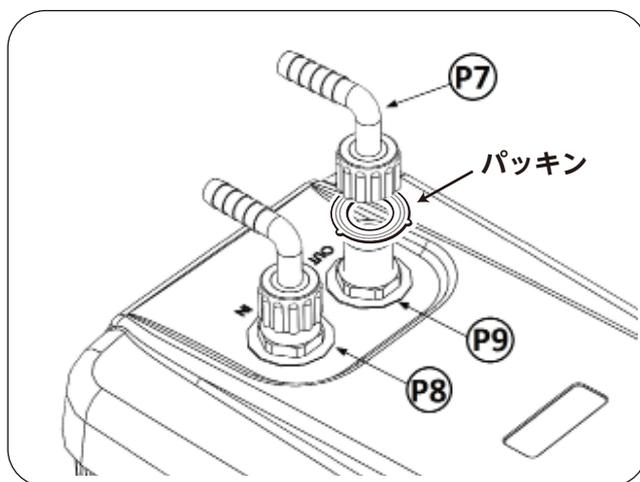


図 5



注意

パッキン付きホース継手 (P7) を接続する際、必ずパッキンの表面がホース継手側になるように取り付けてください。

表裏を逆に取付けた場合、この部分からの水漏れの原因になります。

- 11) ポンプ (図 6 - 7 の A1) またはフィルター (図 6 の A2) から来るホースは本体の IN の位置 (図 5 の P8) へ接続し、水槽へ戻るホースは OUT の位置 (図 5 の P7) へ接続してください。

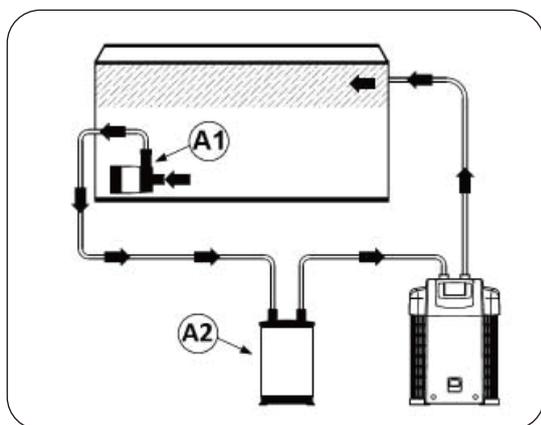


図 6

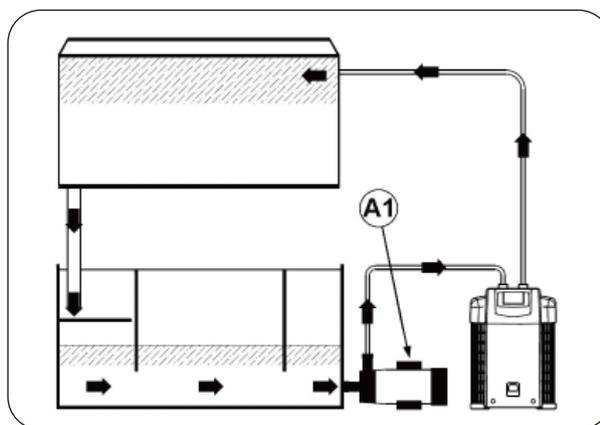


図 7

- 12) 本体を各壁から 20cm 以上離して排気がスムーズに行える場所に設置してください。また、ディスプレイが見やすく、操作しやすい位置になるようにしてください。
- 13) ポンプの電源を入れてください。水が適正に循環し、水漏れなどがないことを確認ください。水漏れや異常がある場合は、接続部分を点検してください。



注意

本体に水を循環させていない状態で絶対に電源を入れないで下さい。冷却が作動し、火災、水漏れ、故障の原因となります。

- 14) 本体へはフィルターを通した水を通すようにしてください。

- 15) 水が循環していることを確認してから電源コードをコンセントへ差し込みます。ディスプレイには「OFF」と表示されます。
 スイッチボタン(図8のA7)を3秒以上押し続けると運転を開始し、水温が表示されます。設定温度を確認するには、SETボタン(図8のA8)を押します。水温表示に戻るには再びSETボタン(図8のA8)を押します。もしくは5秒間待つと自動的に水温表示に戻ります。

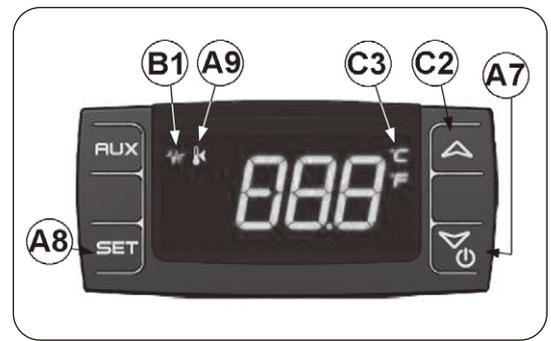


図8

- 16) コンプレッサーの故障を防止するために、初回の始動を2秒遅らせるように設定されています。

- 17) 運転を停止させるには、スイッチボタン(図8のA7)を3秒以上長押しします。ディスプレイに「OFF」と表示されます。

6. ディスプレイの表示事項

点灯：冷却機能が作動中(図8のB1)

点灯：加温機能が作動中(図8のA9) ※TK150には加温機能はありません。

点滅：冷却機能がスタンバイ(図8のB1)

点滅：加温機能がスタンバイ(図8のA9) ※TK150には加温機能はありません。

7. 設定温度の調整

各ボタンの位置については図8を参照してください。

水温の変更の仕方

1. SETボタン(A8)を3秒間押しすと、現在の設定温度が表示され、単位(°C)のアイコンが点滅します。
2. ↑(C2)または↓(A7)のボタンを押して、設定温度を変更します。
3. SETボタン(A8)を押して、設定温度を確定します。

温度反応値(Hy)、水温センサーの較正(Ot)、ヒーターの解除(o1)の仕方

1. SETボタン(A8)と↓(A7)を同時に3秒間押しすと、プログラミングメニューが表示されます。
 単位(°C)のアイコン(C3)が点滅し「Hy」と表示されます。
2. ↑(C2)と↓(A7)のボタンを押して各パラメーターをスクロールさせ、変更したいパラメーターを表示させます。
3. SETボタン(A8)を押すと、現在の設定値が表示されます。
4. ↑(C2)と↓(A7)のボタンを押して値を変更します。
5. SETボタン(A8)を押して設定値を確定し、次のパラメーターに移ります。
6. SETボタン(A8)と↑(C2)を同時に押しプログラミングメニューを終了します。

※30秒間ボタンを一切押さない場合、全ての設定値が自動的に記憶されます。

パラメーター	既定値	内容	調整範囲
Hy	1°C	このパラメーターは器具の調節温度範囲である温度反応値を設定するものです。 ※温度反応値は1°C以下に設定しないで下さい。	0.5 ~ 10°C
Ot	0°C	このパラメーターは水温センサーの較正をするものです。ディスプレイに表示される温度と実際の水温との差を補正します。	-12 ~ 12°C
o1	On	加温ヒーターのOn・Offを設定します。	On - Off

※TK150 本体に表示はありますが、加温機能はありません。

8. 移動と保管

移動の際は、本体の底面を持ち、垂直に立てた状態で慎重に運んでください。
 強い衝撃が加わったりすると故障の原因になります。
 直射日光が当たらず、傾きのない場所に保管してください。

9. 廃棄処分

本製品は家庭用ゴミとして廃棄することはできません。他の家庭用ゴミと分別してください。
詳細については各地域の役所又はゴミ収集センターへお尋ねください。

10. メンテナンス

メンテナンスをする際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
設置場所にもよりますが、本体の掃除は少なくとも1ヶ月に2度の割合で本体についたホコリを取り除き、乾拭きを行うようにしてください。



注意

ホース継手に付属しているパッキンは消耗品です。定期的な確認と交換を行ってください。
水漏れの原因となる場合があります。

11. 問題と解決方法

問題	原因	解決方法
ディスプレイが見つからない。	電源が入っていない。	プラグが電源コンセントに正しく差し込まれているかを確認してください。
水温が下がらない。	循環水量が少ない。	ポンプ（別売）の流量が適合水量の範囲内かを確認してください。
	循環水量が多い。	ポンプ（別売）の流量が適合水量の範囲内かを確認してください。
	水槽の断熱が十分でない。	水槽の壁面とホースに断熱処理をし、熱が逃げるのを防止してください。
	室内の温度が高すぎる。	室内を適正な状態にしてください。本製品を使用可能な最高室内温度は 35℃です。
	熱排出口から室温のエアが出てくる。	電源コンセントが 100V かを確認してください。100V 以下の場合、正常に作動しません。コンプレッサーの不具合が考えられます。購入店またはゼンスイ株式会社へご相談ください。
	ファンの排気口が塞がっている。	排気口が塞がらないようにするか、本体を適切な場所に設置してください。
	冷却ファンの故障。	購入店またはゼンスイ株式会社へご相談ください。
ディスプレイに「P1」というメッセージが表示される。	水温センサーが故障している。	購入店またはゼンスイ株式会社へご相談ください。
ディスプレイの温度が実際の水槽の温度と違う。	水が回路内を正しく循環していない。	ホースが折り曲がっていないかを確認してください。
		ポンプ（別売）の流量が適合水量の範囲内かを確認してください。
	ホースが長すぎる。	ホースをなるべく短くし、断熱処理をしてください。
	温度センサーが較正されていない。	「7. 設定温度の調整」の説明に従って、調整してください。

12. 保証規定

別紙「製品保証書」のとおりです。

13. 修理のご依頼、万トラブルの場合

修理のご依頼、トラブルや分からない事例が発生した場合は購入店または下記までお問い合わせ下さい。



ゼンスイ

検索

本 社 〒566-0052 大阪府摂津市烏飼本町5-1-16 ☎072-654-3743  072-654-3753
 関東営業所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸1-9-20 ☎0480-33-2058  0480-33-2059

お問合せ受付時間 土日祝日を除く月～金曜日 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

